

●凡例…**日**日時(日程)、**所**会場・場所、**内**内容、**人**対象・定員、**講**講師、**出**出演、**費**費用(記載の無い催しは無料)、**持**持ち物、**申**申し込み、**問**問い合わせ

市民のひろば

【県民交流広場・健康体操クラブ】
日①2月1日②15日③29日13時30分～15時 所大原集会所 人各20人 費各1回500円 問六川(☎22-7939)

【市民ハイキング】
日2月3日(日)8時20分～ 所阪急芦屋川駅北→JR三田駅→甚五郎山→羽東山山頂→JR三田駅 費400円(別途交通費) 持弁当・雨具・防寒具・簡易アイゼン 問&問芦屋登山会・相場(☎32-0628)

【あしや喜楽苑ギャラリーご案内】
日①2月5日～16日②18日～28日いずれも9時～17時(最終日は15時まで) 内①書道クラブ展②第5回さをり織り作品展 所&問あしや喜楽苑(☎34-9287)

【丹波の朝採り有機野菜市】
日2月6日・14日・20日・28日、10時～ 所&問ワークホームつつじ・仁頃(☎22-7044)

【おはなし作りの部屋】
日2月6日・13日・27日(水)10時～12時 所図書館 問ぶりん・岡山(☎31-6801)

【ほんわかカフェ・おおはら】
日①2月8日②22日10時～12時 所大原集会所 内県民交流広場①健康布ぞうりづくり②フラダンス 人各20人 費150円(お茶代) 持①古い布 問今村(☎34-2364)

【浜風の家 2月のイベント】
日①2月2日(土)14時～②9日(土)13時30分～③15日(金)15時30分～ 内①豆まき②1日工作教室(ビーズ手芸)③吹き矢体験 人①参加自由②4歳以上③8歳～大人 費②100円③50円 問浜風の家(☎35-5700)

【もちつき大会】
日2月10日(日)10時～13時 所みどり地域生活支援センター駐車場 問芦屋福祉施設連絡会・米田(☎32-0030)

【講座「歌風土記 兵庫県」】
日2月10日(日)13時30分～ 所富田碎花旧居 師和田英子氏 費500円(資料代) 問&問角野(☎090-8825-1292)

【第九芦屋Vol.7合唱講習会】
日2月14日～11月24日の毎月第2・4木曜日19時～21時 所セシリアサロシクホール 内「第九交響曲」の合唱講習・発声の基本(経験不問) 師兵庫県合唱連盟会長・森啓一氏 費月額2,000円(ほかコンサートの積立金あり) 問&問芦屋芸術村・篠原(☎35-5889※9時～17時)

【せっけん・洗剤の提供お願い】
施設のお風呂や洗濯で使用するせっけん・洗剤のご提供をお願いします。 問三田谷学園・山際(☎22-5025)

【養子を育てたい人のための講座】
日①2月16日(土)・3月1日(土)②3月22日(土)・29日(土)各日とも13時30分～16時※2日間の連続講座 所①西宮市総合福祉センター②姫路市国際交流センター 人夫婦15組(1人でも参加可) 費夫婦1組5,000円(1人の場合3,000円) 問家庭養護促進協会(☎078-341-5046)

【もちつき大会・防災訓練同時開催】
日2月17日(日)10時～(雨天決行) 所大榎公園 内もちつき・防災訓練・消防車展示など 問高谷(三住☎22-3363※14時～17時)

【健康山歩き・六甲全山縦走】
日2月19日～3月25日(毎火曜日)8時50分～16時 内56kmの縦走路を5回で歩く 費保険500円、交通費 申&問2月9日(土)までに、らくらく会・近藤(☎/FAX 23-2153)へ

【母と子のいこいの部屋】
日2月19日・26日(火)10時～11時30分 所図書館 人0歳～未就園児と保護者 問バルーン・津田(☎32-2610)

【折り紙教室】
日2月20日(水)10時～12時 所図書館 人一般成人 問段谷(☎34-2546)

【「遊び塾」・「話し方講座」】
日①2月23日(土)13時30分～15時②2月5・12・19日13時30分～15時 内①マジック・おもちゃ作り②話し方講座(3回) 師①松井鴻氏・矢野直文氏②こころまな氏 費①300円②各回300円 所&問&問集・空・間 T i o・西本(☎25-0177)

【芦屋子育て支援講座】
日2月23日(土)10時～11時30分 所市民センター213室(託児あり) 内「生まれる前からの子育て」 師藤本邦子氏 費300円 問守舎(☎31-0887)

【合唱・朗読・マジック合同発表会】
日2月29日(金)13時～16時(12時30分開場) 所市民センター音楽室 内阪神シニアカレッジの合同発表会 申直接会場へ(先着80人) 問阪神シニアカレッジ同友会・草場(☎090-5664-4829)

【10代のためのやすらぎの部屋】
日第1・3土曜13時～16時30分/第2・4土曜10時～12時(祝日休み) 所図書館 問ヨッシーくらぶ・守上(☎23-6854)

【ふれあいボーリング大会開催】
日3月2日(日)9時～ 所神戸六甲ボール 人知的障がい者(児)とその家族1人・10組 費1人1,000円 申2月15日までに芦屋市手をつなぐ育成会・山村(☎38-4044)へ

【碎花足跡を訪ねて(淡路編)】
日3月5日(水)8時20分～ 所JR芦屋駅南口 内あわじ花さじき、大鳴門橋架橋記念館等、見学・講演 人50人 費5,000円(昼食・入場料代) 申&問角野(☎090-8825-1292/FAX078-431-7974)

新一年生のつどい

■日時 2月24日(日)午後1時30分～4時(1時開場) ■会場 西宮市民会館アミティホール ■内容 キャラクターショー、吹奏楽、交通安全のおはなし ■定員 新一年生と保護者500組1,000人 ■申し込み・問い合わせ 2月15日(金)<必着>までに、はがきかファクスで、住所・氏名・幼稚園(保育所)名・保護者名・電話番号を記入し、神戸新聞社広告局業務推進部「ご入学おめでとう大会・西宮会場」係(☎078-362-7077/FAX078-361-7802 ☎650-8571<住所不要>)へ

金婚夫婦祝福式典

■日時 5月11日(日)午後1時～ ■会場 西宮市民会館アミティホール ■対象 昭和34年に婚姻届を提出した県内在住のご夫婦 ■申し込み・問い合わせ 2月29日(金)<必着>までに、所定の申込書(市役所高年福祉課、神戸新聞社、総局、販売所に有)に記入し、神戸新聞社地域活動局「金婚式」係(☎078-362-7052 ☎650-8571 <住所不要>)へ

酒蔵コンサート2008

純 My Request Jazz Live 純マイリクエストジャズライブ

■日時 3月1日(土)午後5時～(開演5時30分) ■会場 灘泉木造酒蔵(神戸市東灘区御影塚町1-2)※飲酒の機会があるので車等での来場は不可 ■出演 たなかりか&安藤義則グレートブルトリオ ■定員 ペア50組100人 ■申し込み・問い合わせペアのみの受け付けで、はがきかEメールに住所・氏名・年齢(20歳以上)・電話番号・日本酒にまつわるエピソードやジャズのリクエストナンバーを記入し2月15日(金)<必着>で東灘区役所まちづくり推進課内「酒蔵コンサート」係(☎078-841-4131 ☎658-8570<住所不要>/Eメール:h-suishinka@office.city.kobe.jp)へ

雛人形特別展示公開のお知らせ

ヨドコウ迎賓館 京都の老舗人形店「丸平」三代目大木平蔵作「有職雛人形」展示

■日時 2月9日～4月6日(開館日は火・水・金・土・日・祝)午前10時～午後4時(入館は午後3時30分まで) ■会場・問い合わせ 国指定重要文化財ヨドコウ迎賓館<フランク・ロイド・ライト設計>(☎38-1720 ☎659-0096 山手町3-10)

土中からのメッセージ

芦屋考古学再発見36

地名の考古学(11)

芦屋川の変遷と流域遺跡の歩み

問い合わせ 生涯学習課 ☎319066

年末に市内の東西を走る山手幹線の芦屋川横断工区現場見学会がありました。全線開通に向けて残された最後の工区であり、芦屋川トンネル部分は百三十一メートルの長さとなります。半川を締め切りながら川底を抜く難工事なので、大変珍しい工法を採用していることがよくわかりました。川底を見上げつつ、大鉄柱を支える鋼製杭の間をくぐりながら、縄文時代や旧石器時代の地層と対応するレベルを東西に歩くと、文字通り「天井川」が実感でき、改めて芦屋川の移り変わりを考える機縁となりました。

さて、現行の芦屋川は近代以降の治水護岸工事の進展によりその流路が固定されていますが、歴史上の芦屋川はその名が定着した古代・中世以前から大きく変化しています。自然堤防がかなり発達した中世では、しばしば戦乱時の渡河点(山陽道との関係を持ち始めたようです。江戸時代の明和六年(一七六九)の史料には、「芦屋川幅、往還筋にて六十間、下通りに

て九十間」とありますので、この頃には両堤の普請がかなり進んだようです。天保年間頃には、今の道路境近くで地下三メートルに江戸時代の遺構が確認されており、十九世紀までは堤防自体も低かったと推定されます。明治十七年の古記録には、深さ三間、広さ八十間とみえますが、平時は細流であることが強調されています。当時の堤防は、高さ八間二尺、馬路一間、堤敷は二間ありました。治水には大変腐心しており、懸案であった大改修工事は、精道村会でもめつつも、大正四年十月の村会で工費十四万五千円の起債をもって可決したとあります。川幅はおよそ二分の一に収まり、当時功績のあった猿丸又左衛門安明の記念碑が作られました。



山手幹線芦屋川トンネル東方で出土した業平・松ノ内遺跡(縄文～中世)

で、当時の省線(現JR)以南は、今よりはるかに川幅があつて、川底には多数の砂礫物が堆積し、その下層には、今回のトンネル工事が出てきたような巨石を押し流してきました。大正の後半からは、安定した川の流れがみられましたが、昭和十三年(一九三八)の風水害は芦屋川を暴れ川に変貌させ、歴史や小説に残る河川としてその名をとどめることになったのです。 ※一間は約八〇cm、一尺は約三〇cm

市ホームページ・バナー広告募集

- 掲載ページ 芦屋市ホームページのトップページ
- 広告料 1枠あたり月額15,000円(掲載期間1カ月単位) 縦60ピクセル×横100ピクセル(GIF形式)、4キロバイト以内 ※広告原稿は、フロッピーディスク等により提出してください。 ※広告料金は、市指定の納付書で納付してください。
- 広告の内容 市の広報媒体としての品位・公共性・公益性を妨げないものであり、市民に不利益を与えないものとします。
- 申し込み 「芦屋市ホームページ広告掲載申込書」に広告案を添えて、広報課へ。 ※詳細は、市ホームページのトップページ「バナー広告募集」をご覧ください。

問い合わせ 広報課 ☎38-2006 (http://www.city.ashiya.hyogo.jp/)